

2024-25RI 会長:ステファニー・アーチック ガバナー:五十幡和彦 会長:大谷純一 /幹事:清水龍男
例会日:木曜日午後 12:30 会場商工センター 編集・発行:クラブ会報委員会 委員長:松岡 保

第29回(第2768回) 2025年 3月第2例会 3月13日(木)

【女子サッカーの発展と地域活性化】

AS エルフェン埼玉

- 点鐘 / 大谷純一 会長
- 国歌/ロータリーソング/四つのテスト 唱和
- 会長の時間 /大谷純一会長
- 幹事報告 / 清水龍男 幹事

- 卓話/AS エルフェン埼玉 鈴木社長・宮内会長
 - 出席状況・ニコニコ報告
 - 点鐘 / 大谷純一 会長
- 司会進行 小松会員

○点 鐘 大谷純一会長

会長の時間 / 大谷純一会長



皆さん、こんにちは！

本日の例会は、私の大好きなサッカーの例会です。しかも、宮内さんにお越し頂いておりますので、話しづらいところではありますが、敢えてサッカーの自慢話をさせていただきます。

昨年行われましたパリオリンピックでは、最高のメダル数を獲得し、私たちに数々の感動を与えてくれました。日本のスポーツレベルが、いろいろな競技において世界と対等以上に戦える選手やチームに

育ってきたからだと思えます。

私の勝手な見識では、感動を伴うこのようなスポーツ環境になるのに、大きな貢献をされたのが日本サッカー協会(JFA)であろうという話は、何度かさせていただきました。

日本サッカー協会は、1970年頃から西ドイツのクラブ形式を模範として、地域に根差すプロリーグ開設に向けて努力を始めました。ヨーロッパや南米のサッカーチームは、必ずホームタウンの地域名が付いています。そしてそのほとんどが、クラブ形式をとっていて、プロチームを頂点に多くの市民が自分の住む街のクラブで、気軽にスポーツを楽しむ環境が整っています。地域密着型です。

当時の日本サッカーは、1968年メキシコオリンピックで、釜本率いる日本代表が3位銅メダルに輝いてはいるものの、その後低迷を続け、日本リーグの観客数は少ない状況でしたが、1993年にジーコやリトバ

ルスキーといった有名外国人選手の力を借りながら、Jリーグというプロリーグを10クラブで開幕します。ちなみにこの同じ年にドーハの悲劇を味わっており、W杯出場の夢は、まだ成しえていません。

しかし、プロ化によって着実に力をつけていった日本サッカーは、その4年後、岡野選手のやっとのゴールでフランスW杯出場を手に入れます。ジョホールバルの歓喜です！

それ以降、ヒヤヒヤさせながらの7回連続でのW杯の出場となります。そして今、来年アメリカで行われる8回目のFIFA W杯出場を目指して、一次予選、二次予選を全勝で勝ち進み、3月20日に埼玉スタジアムで行われる最終予選バーレーン戦で勝利すれば、出場決定となります。

これだけ強い日本代表になった立役者ともいべき中心人物に JFA 最高顧問の川淵三郎という方がおります。

川淵さんは、「夢を持つことの素晴らしさを伝えたい」「夢があるから強くなる」という“夢”をテーマに JFA ころのプロジェクト「夢の教室」という学びの場を小中学校の子どもたちを対象に開催しました。2007年ですから18年前のことです。

JFA ころのプロジェクト「夢の教室」は、サッカー界に限らず、各スポーツ競技の現役アスリートや元オリンピック選手、プロ野球選手会、アナウンサーなど 1,000人以上を「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを「夢の教室」で伝えていくのです。

そして、10 数年が経過していく中で、ついには 20,000 回を超える「夢の教室」が開催され 50 万人を超える子供たちが受講し、一流アスリートとして活躍する選手を生み出すきっかけとなりました。

昨年のパリオリンピック出場選手の中にもかなり多くの「夢の教室」出身選手がいて、我々に感動の場面を見せてくださいました。

スポーツが文化となり、私たちに感動を与えてくれる日本になったことに感謝したいと思います。「日本サッカー協会」ありがとう！「川淵さん」ありがとう！です。

小学校、中学校、高校、そしてクラブと日本サッカーの底辺は着実に広がっています。さまざまな創意工夫をし、自分たち一人一人の人間力アップすることが、チームの強化につながると確信しているようです。

そして、この度、女子プロサッカー“WEリーグ”に加盟している“ちふれ AS エルフェン埼玉”が熊谷陸上競技場をホームタウンとしてこの地にやって参りました。

“エルフェン埼玉”の鈴木社長とお話する機会を頂き、「女子サッカーの発展や地域づくり」を目標に励んでいるというお話を聞き、何とか微力ながらもお手伝いしたいと思うようになりました。

3月から“WEリーグ”後半戦が始まっておりますので、熊谷陸上競技場に足をお運び頂き“ちふれ AS エルフェン埼玉”を応援して頂きたいと思えます。

行田市持田出身の“大沼歩加(あゆか)”選手も中心選手として活躍しておるのですが、今はケガでリタイア中ですが、是非、スタジアムまで応援に駆けつけて頂き、女子サッカーを盛り上げて頂きたいと思えます。

以上、日本のスポーツが世界レベルの強さを手にしてきた一端をご紹介させて頂きました。

このようにスポーツを通して、我々に感動を与えてくれる若者がたくさん育っている環境が、日本全国各地に根付いてきました。

日本サッカー協会は、常に未来志向で、次を見つめています。

サッカー日本代表は、男女共に W 杯世界一を目指しています。それを語れるレベルまで登ってきています。今まで W 杯を手にした国は、8か国だけです。9か国目は日本でありたい。それは私の大きな楽しみでもあります。

是非、皆様には、日本を今後背負っていく若者をいろいろな場面で、いろいろな形で応援して頂きたいという思いをお願いして終わりにいたします。

以上です。どうもありがとうございました。

幹事報告



次回の例会は富士見寿司さんにて
18 時より行います。
地区より大船渡の支援金協力の要請が
きております。

委員会報告



3月7日、京都大学内にある iPS 研究所へ直接寄付
金を持参！

また iPS 細胞研究所 藤田先生から「山本正幸さん、
碓井さんに宜しくお伝えください！」とのことでした。

財団・iPS 横田委員長



蔭山会員も個人的に寄付をされました。

卓話者紹介



株式会社エルフェンススポーツクラブ

取締役 宮内 聡会長

サッカーの名門 帝京高校 古河電気工業へ。

名ボランチとして日本代表でも活躍し今日の日本サッカー隆盛の礎を築いた一人でもあります。引退後は日本女子代表コーチに就任。1996年には女子サッカー界の悲願であったオリンピックアトランタ大会初出場に大いに貢献されました。その後1997年から1999年ま

で日本女子代表監督を務めた後、成立学園高校サッカー部総監督就任。2020年に株式会社エルフェンススポーツクラブ会長に就任されました。

株式会社エルフェンススポーツクラブ 鈴木康之社長

2009年 株式会社ちふれ化粧品に入社 2023年に代表取締役社長に就任

卓話



宮内会長 選手のプレーを詳しく説明して頂きました。



鈴木社長

WEリーグ女子サッカーの構造・クラブ構成・地域との連携・活動実績についてお話していただきました。

そして行田市民の皆さんと活動する機会を増やし共に成長していきたいとの事です。



出席状況・ニコニコ報告



正会員数	55名
出席者	32名
出席率	55%
ニコニコ報告	7,000円

プログラム 坂本篤子委員長

- 大谷会長/宮内会長、鈴木社長 本日はありがとうございました。今度エルフェンのユニホームを買って応援に行きます。
- 清水幹事/宮内会長、鈴木社長 本日はありがとうございました。
- 坂本篤子会員/ちふれ AS エルフェン埼玉、応援します。
- 松本会員/3月3日で結婚35周年を迎えました。日頃、支えていただいている妻に感謝。そして行田ロータリーの皆様に感謝申し上げます。有難うございます。



本日の司会 小松会員

